

令和5年度第1回総合計画審議会

事前意見及び回答

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」成果指標リスト」について

委員名	指標連番	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
石渡 雄悟 委員	37~40	農水産業の法人数や就業者数が増加した要因はなんですか？	農水産課	<p>農業法人数の増加については、2法人は営農区域が複数の市内市町村にまたがっており、千葉県が県の認定農業者として認定したため、1法人は個人の館山市の認定農業者が法人化したため、3法人の増となっています。</p> <p>新規漁業就業者数については、市内各漁協の新正組合員数及び大型・小型定置網漁業、まき網漁業への新規就業者数(外国人を除く)を集計しています。就業者数が増加した要因については、令和3年度と比較して、漁協の正組合員は代替わり等により4名の増、定置網及びまき網漁業については、退職者の補てん等により、雇入れによる新規就業者が3名の増となっています。</p>
石渡 雄悟 委員	53	船形バイパスの工事進捗率が遅れている原因は？ そして工事完成はいつ頃になりそうですか？	都市計画課	<p>本体工事は、ある一定区間の事業用地が確保できた区間から順次整備を実施しています。</p> <p>用地取得率については、令和5年8月現在で80.7%となっています。残る19.3%については、相続や土地の権利問題などがあることから、現在、用地交渉と併せ、地権者の皆様の御協力を得ながら課題の解決にあたっているところです。</p> <p>そのため、契約に至るまでに必要な手続きがあることから期間を要しています。</p> <p>完成予定時期については、令和10年度末の供用開始を目指しています。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	10	「児童虐待に関する重大事案を防ぐことができた」とは具体的にどんな事案を防ぐことができたのでしょうか。	こども課	重大な事案とは、児童にとって、生命の危機にさらされるような、ケガ、ネグレクトが起こることと考えています。今後も関係機関との連携により、対応してまいります。
田中 真由 委員	10	「児童虐待に関する重大事案を防ぐことができた」という文言に、胸をなでおろすとともに関係者の方々には頭が下がる思い。虐待やネグレクトなどの日々のニュースには、いつも胸が締めつけられる。非常にセンシティブで神経をすり減らす仕事と思うが、応援している。	こども課	ありがとうございます。児童虐待のほか、不安を抱えられる家族の相談対応は、すぐに改善とはならない場合も多く、地道に支援を重ねていかなければならないと感じます。近年、家庭の抱える問題は、経済的・精神的な不安、高齢家族の介護、子どもの発達面の心配など多くの問題を抱える複合的な場合が多く、細やかな対応が求められます。今後も相談対応に当たる職員の心身の健康に留意しながら、引き続き評価をいただけるよう努めてまいりたいと考えています。
鈴木 知己 委員	12	<p>高齢者福祉の中で最重要課題と考える『協議体』(支え合い会議=館山市の名称)と『生活支援コーディネーター』(支え合い相談員=館山市での名称)について意見させていただきます。</p> <p>包括ケアシステムの充実には、地域住民が地域の課題を話し合う場である『協議体』と、公的な支援ではない通いの場などの助け合い活動等の資源を把握し、必要な方につなげ、資源の構築にも協力していく『生活支援コーディネーター』の設置が求められています。</p> <p>医療・福祉専門職とのパイプ役になれる地域包括支援センターが『生活支援コーディネーター』や『協議体』と協働する事で、自助、互助、共助、公助の全方位から包括的な支援を行うことができると考えます。</p> <p>現在も『協議体』や『生活支援コーディネーター』の設置に取り組んで下さっていますが、ペースをもう少し上げていただく必要があるかと考えます。1年に4つある各包括の圏域で1か所ずつ『協議体』や『生活支援コーディネーター』の設置を目指す動きを望みます。</p>	健康課 社会福祉課 高齢者福祉課	<p>地域包括ケアシステム構築のためには、介護保険をなど行政サービスだけでなく、民間サービスやボランティアなど様々な社会資源を有効に活用していくことが重要であり、その体制構築のため「生活支援体制整備事業」を実施しています。</p> <p>地域住民のニーズを把握し地域で話し合う組織である「協議体」については、住民手上げ方式でメンバーを募集し、ワークショップ、研修会を開催し、本年度中にメンバーの委嘱、協議体の設置まで行う予定です。</p> <p>また、地域の高齢者と社会資源を繋ぐ「生活支援コーディネーター」については、ボランティアで活動いただいている3名の方に加え、本年度から地域福祉活動を推進する社会福祉協議会に2名配置する予定です。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	22~25	事業の効果および課題に、「地域に相談支援事業所など社会資源が少ない」とありますが、相談支援事業所とはどういう機能を果たす場所で、社会資源増加のための策はどういったことが考えられるのでしょうか。	社会福祉課	相談支援事業所は、障害のある方が障害者(児)福祉サービスを利用する前にサービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行い、障害者(児)の支援をする事業所。相談支援事業所及び相談支援従事者の増加を図るため、千葉県が行う相談支援従事者研修の協力や、周知に努めています。また、実際にサービスを提供する事業所の増加を図るため、国の施設整備補助金を周知し、事業者の相談にも乗っています。
田中 真由 委員	36	いまさらながら、件数だとわかりづらいと感じた。「対象者の〇%(〇件)」という形で表記してはどうか?	市民課	対象者(40歳以上の被保険者から健康診査を受検した者等を除く。)に対する利用率と助成件数を表記します。 【国保】 対象者の2.9%(203件) 4,060,000円 【後期】 対象者の0.9%(74件) 1,480,000円
田中 真由 委員	50	中学生に対するピロリ菌検査を実施してはどうか?胃がん症例の99%にピロリ菌が関わっているとされ、将来的な市民全体の健康を考えるのであれば検討の余地があると考えている。日本ヘリコバクター学会のガイドラインでは、若年層(中学生以上)で除菌するほど胃がん予防効果が高いとしており、中学生を対象に実施する自治体が出てきている。同学会から、「中学生ピロリ菌検査と除菌治療 自治体向けマニュアル」が公開されている。	教育総務課	国内の一部で実施されている中学生を対象としたスクリーニング検査の有効性は認識しています。 しかし、現在、市が実施している市民向けの各種健診においてもピロリ菌検査のスクリーニング検査は未実施であることや、成人後の実施を推奨する意見もあることから、それらの実施については、学校医等の専門家の意見を聴取する等、慎重に検討する必要があると考えます。

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
田中 真由 委員	62	南房総市との連携はできないのか?市域を超えて連携する必要がいずれは出てくると考えている。	教育総務課	<p>公立学校の設置者は、法により地方公共団体と定められており、学校再編にあたっては、当該自治体が地域の実情に応じて検討すべき事項となります。</p> <p>一方、委員ご意見のとおり、安房地域全体の急激な人口減少のなか、子供達に関連した様々な分野(発達支援・不登校児支援等に関連する専門人材など)において、人材不足が顕著となっており、現状においても近隣市の事業者との連携などを図っているところです。</p> <p>今後も、複雑化・多様化する社会の中で、子供の特性や家庭環境に応じた支援など、同じ課題に向き合う近隣自治体での情報共有は重要なことであり、学校再編といったハード的な部分以外の分野において、自治体同士の連携が必要だと認識しているところです。</p>
田中 真由 委員	64	<p>当方の子どもたちの様子を見ていて、タブレット活用は担任のリテラシーに大きく左右されると感じている。デジタルの苦手な担任が続くと、タブレット学習やプログラミング学習の習熟度に差が生じるケースが起こりうる。ICT支援員を増やして各校に常駐させ、各クラスの授業を飛び回らせてデジタルが苦手な教員を日常的にサポートするような方向にしていけないものか?日本全体で考えたとき、将来的な地方自治体のプレゼンスは、ギガスクール構想に自治体に対応できたかどうかひとつのカギになっていると思う。</p>	教育総務課	<p>委員ご指摘のとおり、ICT支援員は、GIGAスクール構想の推進に当たり、重要な役割を果たしています。</p> <p>館山市では、学校規模に応じて、各学校に最低週1回(学校規模に応じて2日~0.5日)、勤務するように配置しております。この回数は、近隣市と比較すると、南房総市は各校月に2日、鴨川市も各校月に1~2回(4時間か6時間)となっており、館山市の方が手厚くなっています。</p> <p>ICT支援員を各校に常駐させるには多額の市民負担(現状で27,720,000円/年、全額一般財源)が必要となるため、市では令和3年度から2年間各学校の教員にて組織する『教育問題研究会』において「新時代の学びに向けた1人1台タブレット端末活用の館山市モデルの作成」をテーマに授業モデルを作成し、教職員のICT活用能力の向上状況を図ってきたところです。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
田中 真由 委員	69	<p>多くの保護者が仕事を持っている現代、参加者数の大幅な増加が見込みづらく、時代にそぐわないと感じる。実体験上、企画・集客にどれほど工夫をこらしても、参加保護者が各校の半数を超えることはない。家庭教育学級のオリジナル企画の講師には市を通じて謝礼が支払われるが、参加できない家庭にとっては謝礼分の価値を享受できないことになり、公益性に疑問が残る。PTAの家庭教育学級担当者にとっては負担が大きく、仕事を休んで無償で準備をしてきても報われにくい。家庭教育学級は全国の自治体で昭和の前半から行われているが、時代が移り変わるなか、現代において実情は行政側のきれいな理想とマッチしておらず、館山市が先んじてその慣習から抜け出してもよいのではないだろうか？</p>	中央公民館	<p>家庭教育は、すべての教育の出発点といわれ、教育基本法では、地方自治体は「家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」と定められています。</p> <p>家庭教育学級は、教育委員会等が家庭教育に関する学習の機会を提供する場であるばかりでなく、同じ悩みを持つ親同士が相互に交流し合い、親の自発的な学習を促すきっかけづくりの場となっています。</p> <p>ご指摘のとおり、家庭教育学級の運営には、多くの保護者が仕事を持っている現状から運営負担の軽減・解消と参加者減少は重要な課題です。その運営にあたっては、家庭教育の自主性を尊重しつつ、いただいたご意見を基に既存の保護者会など多くの親が集まる機会の活用や親子参加型の学びの場の利用に加え、従来の学級形式から地域・学級を超えた対話(ワークショップ)型など運営形態の転換のほか、家庭教育学級だよりやSNSを活用した家庭教育学級情報の提供や子育て支援機関との連携などの支援について検討してまいります。</p>
片方 義明 委員	78	<p>まちづくりは市民のハートをいかに伝えられるかが大切。 赤山地下壕から展開する観光スポットを充実させ、2030年に100歳となる旧南校校舎と共に、文化財を大事にする市民と育む館山市を伝えることが来訪者に届くのでは。</p>	生涯学習課	<p>ご意見のとおり、文化財は国民共有の貴重な財産であり、適切に保存・活用することで、次世代に引き継いでいくことが重要です。館山市には、文化財に関わるNPOや市民団体も多く、赤山地下壕跡や千葉県立安房南高等学校旧第一校舎、小谷家住宅の保存・活用、さらに講座の開催など、活発に活動されていますので、今後もそれらの団体と連携しながら文化財保護を進めていきたいと考えています。また、館山市の特徴ある文化財の魅力とともに、文化財に関わる市民や関連団体の取組を多くの人に知ってもらうため、これまで以上に積極的な情報発信を心がけます。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
鈴木 ひとみ 委員	88	オリパラのレガシーなど、オリパラキャンプの受け入れが、どのような効果をもたらしたか、現時点で評価すべき項目もあると考える。	スポーツ課	<p>2019年にUSAとオランダが、トライアスロン競技、2021年にオランダがトライアスロン競技及びオープンウォータースイミング競技(OWS)において、事前キャンプが実現したことで、館山市がトップアスリートも認めるスポーツに適した環境であることを国内外に広く周知され、知名度アップに繋がりました。</p> <p>今年に入ってから、日本トライアスロン連合による、パリ・ロス五輪を見据えた若手選手の強化合宿や民間事業者によるサイクリングイベントの開催など着実に交流人口に繋がる効果を実感しています。</p> <p>また、OWSでは、日本水泳連盟や千葉県水泳連盟が主催する国内トップ選手が参加する日本選手権などの大会が継続的に開催されています。</p>
東 洋平 委員	94	館山湾振興ビジョンは、HPを見ると平成21年に概要版を公開とかなり古い計画で見直しの方法とそのスケジュールをお聞きしたいです。	観光みなと課	<p>本ビジョンは、館山湾を中心とした「海辺のまちづくり」の実現を目指すマスタープラン的なものであるため、シンクタンクに調査・策定を委託するとともに、国(国土交通省)・港湾管理者である千葉県をはじめ関係機関・関係団体等による「館山湾振興ビジョン策定調査委員会」を組織し、それぞれの意見を聞きながら策定しました。</p> <p>現時点で具体的な見直しのスケジュールは定まっていますが、今後、見直しを検討するに際しても、同様に様々な関係機関等と協議調整していく必要があると考えています。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	113 (2-2-No. 36)	地産地消の推進で、2-2の推進店の登録も伸び悩んでいますが、どの程度推進店で地産地消が行われているか何らかの指標が必要ではないでしょうか。地域内経済循環が地域活性化の基盤になりますので、食のまちづくりも合わせて、このネットワークの推進と拡充に力を入れるべきだと考えます。	食のまちづくり推進課	<p>地産地消推進店については、新型コロナウイルス感染症の影響等で近年積極的な登録推進やPRができず、登録数が伸び悩んできました。本事業の推進にあたっては、市全体の意識向上及び地域の飲食店等との連携が重要であるため、今後も事業周知及び新規事業者への声掛け・PR等を行っていきたいと考えています。</p> <p>一方、地産地消の更なる推進のためには、登録店を増やすだけでなく、既存登録店を含めた推進店が、地場産農水産物を活用する割合等を拡大していくことが必要ですが、ご提案にあるような“地域の農水産物がどの程度地産地消推進店で使用されているか”といったデータについては、現在把握できるものはありません。指標としては、事業の進捗確認に適したものでなければならないことはもちろんですが、調査に係る各店舗の負担感等を考慮しつつ、データを正確に把握できるものである必要があります。今年度は推進店の意向や現状等を再確認し、今後の事業展開等について、推進店と共に検討していきたいと考えています。</p>
田中 真由 委員	141 (地方創生推進交付金事業も含む)	移住・定住促進が全国の地方自治体で行われているなか、この結果からおせっ会が健闘していると言える。一方で全国規模での限られたパイの奪い合いは10年数年前よりも激化しているため、これに限ってはもはやKPIが必要なのかは疑問。計画上必須であれば設定しなければならないかもしれないが、移住需要の受け皿として必要性があるので、ぜひKPIに縛られずに継続してほしい。	雇用商工課	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>移住・定住の促進は、『館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン』に位置付けた取組でもあり、両市及び館山市の移住相談業務の委託先であるNPO法人おせっ会との連携を深め、館山市のみならず圏域全体が「訪れてみたいまち」「住んでみたいまち」「帰ってきたいまち」として選ばれ、「将来にわたって持続可能なまち」となることを目指す上でも、引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
田中 真由 委員	143	<p>少子化が進めば、高校の統廃合はやむを得ない。市外の高校に進学する生徒が増加しているとのことだが、その現象が続くことを前提に市としてできることを考えてみてはどうか?「高校の存在」という役割を他市に頼る代わりに、教育面をサポートできることは何かと考えたとき、市内に居住を続けることを条件に、学費サポート、日々の送迎バス運行など。</p>	企画課	<p>市外への通勤・通学の助成やサポートが、「人口減少対策」の一つの手段であると認識しております。 ただし、高等学校が市内にあり、そこに学生が通うことで、飲食や文具などの消費に繋がること、また、館山市職員採用試験への申込について、「館山市内の学校に通っていて、館山市に愛着があるから」などの理由で職員を目指す生徒もおります。 ご指摘のとおり、未来を予測し、あらゆる状況に対応していく考えておりますが、高等学校の存続についても可能な限り、対応していきたいと考えます。</p>
田中 真由 委員	148	<p>猟師の方々の話では、空き家がイノシシの棲み処になっているとされている。まずは市内・域内在住者に向けて「空き家を放置しないで!」を理由とともに積極的に広報し、「空き家を持っているけどどうしてよいかわからない」方のための受け皿を用意してはどうか?</p>	建築施設課	<p>空家の維持管理につきましては、市のホームページに「空家等への対応について」ということで、空家を所有されている方への適切な管理と速やかな相続登記のお願いと「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく市の対応を掲載しているところですが、今後、定期的に『だん暖たてやま』等の広報誌に掲載することで啓発をしていきます。 また、「空家を持っているがどうしてよいかわからない方」への受け皿、相談先としましては、令和5年8月1日より開始された『館山市空家バンク制度』の空家相談事務局があり、空家の活用を希望する所有者や空家の利用を希望する方からの相談を受け付けているところです。 なお、空家の維持管理を所有者自身で行いたいという方からの相談につきましては、市の建築施設課で引き続き行っているところです。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況(政策評価)調査シート」について

委員名	事業No.	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
田中 真由 委員	172	おどや大神宮店で「富崎ぐるっとバス」の利用者をよく見かける。議員のなかにも運行に携わっている方がいらっしゃるのをお見かけし、支援員として関わっている方には頭が下がる。すばらしい取り組みと感じる。高齢者の免許返納策の一環としても、“ちょっとそこまで”の需要に応えられるこの取り組みを市内の辺境地区で広げてほしい。	企画課	ご意見ありがとうございます。高齢者の増加に伴い、「自宅から近くのバス停や知人宅まで」といった移動についても大変だという声が目立つようになっていきます。 各地域の特性を考慮しつつ、「富崎ぐるっとバス」のような取組が広がり、誰もが気軽に楽しくお出かけできる環境になるよう、施策の検討・実施に努めます。
東 洋平 委員	223	窓口サービスの充実ですが、職員研修というのはどういったことをやっているのですか。	市民課	戸籍の受付の研修など、職員の経験年数に応じた研修を行っております。
片方 義明 委員	226	市民に欠かせない優しい行政集約区を目指せる、県・市・市民との協議から将来の核に充分相応する所と確信しています。	企画課 都市計画課	ご意見ありがとうございます。 庁舎建設の候補地のことも含め、利活用を検討してまいります。

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」について

委員名	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
鈴木 ひとみ 委員	<p>平成28年度に総合計画が作られ、令和3年度に後期基本計画が作成されてから、このコロナ禍を通して社会が大きく変化している。</p> <p>少子化、高齢になっても多くが就労している現状、観光の形態の変化、不登校、引きこもり、高齢者の単身世帯の増加など新たな課題にも目を向けていかなければならないと考えます。</p>	企画課	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>総合計画及び総合戦略の施策の有無に関わらず、社会情勢の変化に対応していきたいと考えます。</p>
東 洋平 委員	<p>よりよいまちづくりを推進するために各部署がどのような事業を行っているか、また課題などの概要を理解するには適した資料だと思いました。</p> <p>一方で、「人口を令和42年に約30000人に維持」という目標に対して、各事業がどのように関連して達成を図っているのか分からず、理解しづらいです。</p> <p>例えば、資料2-2は、指標や達成率がありますが、2-3がどの指標の達成に貢献する事業なのかが不明確だと思いました。2-2の内容は2-3で確認できるのですが、2-3から2-2に遡れないので、何の達成に寄与しようとしているのかが分からなかったです。</p> <p>事業のニーズが市民側にどの程度あるのか、そして各事業で人件費も含めたコストがどの程度かかっているのか割り出さないと、目標達成のために何をやるべきで、何をやめるべきなのかが重要度や優先度が審議できないのではないのでしょうか。各事業を評価するための審議であれば情報が少ないように思いますし、扱う範囲が膨大で煩雑になると感じます。</p>	企画課	<p>資料2-3の各事業については、必ずしも成果指標(目標)と結びついていないものがあります。</p> <p>まず、後期基本計画の策定の中で、各基本方針の達成のために必要な事業や成果指標となるものを挙げました。</p> <p>最終的に成果指標が117になったことで、政策評価の負担、評価の形骸化などの懸念があったことから、現在の成果指標に絞り込みを行いました。</p> <p>そのため、各事業については、各節の基本方針の達成のために必要な事業ではありますが、必ずしも成果指標と結びついておりません。</p> <p>また、費用については、決算前であることから、審議会の資料には掲載しておりません。計画最終年度においては、政策評価のために掲載する予定であります。</p> <p>なお、ご指摘のとおり、227の事業があり、範囲が広すぎることで、一つ一つの事業について審議会等で審議ができないことが問題であると感じております。</p> <p>次期総合計画においては、わかりやすく、また評価がしやすいものを作りたいと考えております。</p>

(1)「第4次館山市総合計画「後期基本計画」について

委員名	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
石渡 秀嗣 委員	<p>コロナ禍の中、あらゆる環境が今まで通りに行かなかった中での取りくみで有り比較等が難しいのが現状。逆にコロナ禍で変らずを得なかった新たな課題の明確化が必要になっていると思う。</p>	企画課	<p>ご意見のとおりと考えます。 新型コロナウイルス感染症の拡大及びそれに伴う各種規制や自粛が緩和されてきておりますが、今後の見通しが不透明であること、また、それ以外の問題(災害など)が今後発生する可能性もあること、逆にデジタル化の更なる発展による社会情勢の変化もあり得ることなどから、計画や事業の見直しは難しいと考えます。 また、当初からの推移の検証という点から、見直しをすることで比較検証が難しくなる面もあると考えます。 今後の社会情勢に対応することはもちろんではありますが、現在の計画については、現状のとおりとし、最終年度において、感染症の影響も踏まえての効果検証を行いたいと考えます。</p>
田中 真由 委員	<p>※子育て世代にとって教育という項目は居住満足度に関わるほか、移住検討者の子育て家庭および子育て家庭予備軍にとっては移住先考慮の大きなウェイトを占める。教育に力を入れられる館山市であってほしい。</p>	企画課	<p>ご意見ありがとうございます。 お子さんを「この保育園(学校)に通わせたい」と、お子さんの教育環境を優先した移住者がいると伺っております。 子育てや教育関連だけでなく、移住・定住の観点からも重要なものであると考えます。</p>
田中 真由 委員	<p>※141で記載した通り、移住・定住促進は激化していると感じる。複数の地方自治体がSNS等に出稿しており、限られたパイの奪い合いで激戦になっている様子がうかがえる。ライフステージのみならず“気分”に合わせた住み替えが今後主流になり、今で言うところの関係人口との区別があいまいになっていくと個人的には考えている。定住にこだわらずに一時的な居住も歓迎したり(ワーケーションよりも長い一時的な居住)、ライフステージやペルソナを細分化して呼び込み策を変えたりすることが次世代型移住促進の課題と言えそう。</p>	企画課	<p>ご意見ありがとうございます。 昨今のデジタル化により、これまででは考えられなかった仕事の方法や居住の考え方が生まれてきており、今後もさらに進化していくと考えられます。 ご指摘のとおり、社会情勢や時代のニーズに適応し、最善の政策を実施していきます。</p>

(2)「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(数値目標)について

委員名	指標	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	観光入込客数 宿泊者数	観光客入込数と宿泊者数が目標値到達の水色となっているのは誤植でしょうか。	企画課	ご指摘のとおり、誤りになります。 大変申し訳ありませんでした。

(2)「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(KPI)について

委員名	重要業績評価指標 (KPI)	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	企業訪問(トップセールス)件数	企業訪問の件数が伸び悩んでいるのはコロナ禍の影響でしょうか。	雇用商工課	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もありましたが、こういった企業へ訪問すれば良いのか苦慮しており、積極的なアプローチができませんでした。</p> <p>今年度については、当市に関心を寄せられた企業を中心に、様々な機会を捉えて企業訪問を実施していきたいと考えています。また、令和5年3月に、民間施設ではありますが、サテライトオフィス進出拠点が整備されるなど、受入環境が整いつつある中で、業種やターゲットの絞り込みの検討も必要と考えています。</p> <p>なお、平成30年度の基準値37件については、市長によるトップセールスの他、企業誘致担当者による企業訪問等の活動件数を含めた実績値を計上しています。</p>
東 洋平 委員	新規漁業就業者数	新規漁業就業者数の達成度がかなり高い実績値になっていますが、どのような就業形態で、どのような仕事に従事されているのでしょうか。	農水産課	<p>新規漁業就業者数については、市内各漁協の新正組合員数及び大型・小型定置網漁業、まき網漁業への新規就業者数(外国人を除く)を集計しています。</p>
東 洋平 委員	耕作放棄地	耕作放棄地がR2からR3年で激減していますが、何があったのでしょうか。	農水産課	<p>農業委員会の「遊休農地調査」と「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」が「利用状況調査」に統一され、これによりR3年度から調査内容が見直され、データを精査した結果、データの重複が判明し、そのとりまとめに伴い、大幅に面積が減少しました。</p>
東 洋平 委員	市民意識調査「館山市への愛着」割合	市民意識調査のデータがR2から空白なのは、コロナ禍の影響でしょうか。	企画課	<p>次期総合計画を策定する際の調査で実施するものです。そのため、毎年調査は行いません。</p> <p>備考等にその旨がないため、分かりづらかったと反省しております。</p>

(2)「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(KPI)について

委員名	重要業績評価指標 (KPI)	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
東 洋平 委員	新規設置看板の外 国語併記割合	新規設置看板の100%は、件数は何件でしょうか。	市民協働課	令和元年度に設置した観光案内看板2箇所となります。
片方 義明 委員	・ファミリー・サポ ート・センター会員数 ・「元気な広場」利用 満足度の割合 ・公設学童クラブ利 用満足度の割合	子育てにより楽しく安心感を持つ方が多い点は素晴らしい。	こども課	ありがとうございます。今後も館山市での子育てに、楽しさや安心感を持っていただけるよう努め、また、あわせて市民の声やご意見に耳を傾け、満足いただける子育て支援の充実を図ってまいります。

(2)「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

委員名	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
鈴木 ひとみ 委員	<p>コロナ禍で思うように事業を進められなかったとはいえ、「しごと」の創出では、目標を達成できない可能性の大きなものが多い。</p> <p>トップセールスという手法は、あまり効果を期待できない。</p> <p>SNS等を使った魅力発信、インバウンドをねらったサイトへのアピールなどもさらに研究していくべきと考える。</p> <p>多くの分野で人手不足の現状をみて、仕事のマッチングに力を入れる必要があると考える。</p>	雇用商工課 観光みなど課	<p>・雇用商工課 ご意見ありがとうございます。</p> <p>人手不足については、関係機関や近隣市町と連携した「南房総のお仕事探しイベント」の実施、安房地域での就職を希望する高校生を対象とした「安房地区合同進路セミナー」や「面接練習セミナー」等の開催を通じて、人手不足解消を図っていきたいと考えています。</p> <p>なお、人手不足については、県北地域との給料格差等の構造的な課題があることから、関係機関との意見交換等を行いながら、課題解決に向けて検討していきたいと考えています。</p> <p>・観光みなど課 昨年度から館山市観光協会と共同で観光協会のInstagramを更新しており、フォロワーが1,000人程増加しています。今後も連携して館山の魅力発信に努めたいと思います。</p> <p>また、インバウンドについては、館山インバウンド協議会や千葉県の関係団体等と連携して台湾をメインターゲットとし、訪日外国人の誘致を行っています。先日、千葉県観光物産協会の紹介で台湾人インフルエンサーに館山取材してもらい、館山の発信を行うことができました。今後も、関係機関と連携して館山のPRを実施していきたいと思います。</p>
石渡 秀嗣 委員	進めにくい状況の中でも積極的に進めている状況が数値に表れている。	企画課	今後も感染症や災害など予期せぬ社会の変化に迅速に適切に対応していきます。

(3) 地方創生推進交付金事業（リノベーションまちづくり事業）について

委員名	委員からの意見（原文ママ）	担当課（雇用商工課）回答
鈴木 ひとみ 委員	<p>いずれも戦略の見直しは必要なしとあるが、チャンネル登録者数以外のKPI達成率が低いのに、本当によいのか。</p> <p>特に新規雇用者という最も大きな目標であるものが21.5%という現状でよいのか？</p> <p>また、これらの事業で呼びこまれている人たちが、地域で不足している分野の人材（建設、農業、介護、看護、保育等）になるのかは、疑問である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>リノベーションまちづくり事業については、令和元年度及び令和2年度に開催したリノベーションスクールや、令和3年度以降、館山ならではのリノベーションまちづくりの取組を実施してきたことにより、館山駅東口エリアを中心に、20件以上の飲食店等の開業がありました。これらの店舗は、小規模事業者（家族経営）が多く、目標値には到達していませんが、開業した方（法人や個人事業主）が、20人以上いることも考慮すると、多様な「しごと」の創出に繋がったものと考えています。</p> <p>また、地域で不足している人材については、新たな人材の輩出を目的としたリノベーションまちづくり講演会の開催や、リノベーションまちづくり構想策定委員に、建設事業者や農業事業者等にもご参加いただき、意見交換や情報共有を図っています。</p>
東 洋平 委員	<p>館山TVについて、非常に有効であったという評価があるにもかかわらず、中止となったことには端的に「もったいない」という印象を持ちました。他の、有効でなかった事業を中止してでも有効な事業をさらに伸ばせるように予算配分ができないのか疑問をもちました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>KPIとして設定したチャンネル登録者数は、館山市公認YouTubeチャンネル『館山TV』に加え、館山市公式チャンネル、NPO法人おせっ会YouTubeチャンネルの各登録者数の合計値としており、設定した目標値を上回る結果となったことから「非常に有効であった」と評価いたしました。</p> <p>なお、『館山TV』に関しては、交付金事業の計画期間が終了したため、一旦中止としておりますが、当該チャンネルの有効活用を検討していきたいと考えています。</p>

(4) 次期館山市総合計画及び総合戦略について

委員名	委員からの意見(原文ママ)	担当課(企画課)回答
鈴木 ひとみ 委員	総合計画に総合戦略を取りこむことは、良いと思う。	ご意見ありがとうございます。
東 洋平 委員	<p>主に(1)の意見で記したとおりです。</p> <p>明かにこの資料を作成するためのコストが大きいと思われま。</p> <p>また、この計画や戦略を策定したことで、よりよいまちづくりにつながっていると評価する指標があいまいで、重点化すべきか凍結すべきかの判断材料としては内容が薄いように思います。</p> <p>最終的な目標をより具体的に明記し、結果へのコミット力の強い事業、予算の大きな事業を選定して、重点的に審議するなど、効果的な計画の策定、審議が求められるかと思ひます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>策定にあたっては、ただ形式的に取り込むのではなく、ご指摘のとおり、きちんとPDCAができるものを策定していきたいと思ひます。</p>
石渡 雄悟 委員	その通りで良いと思ひます。	ご意見ありがとうございます。
秋山 一夫 委員	事務局の提案に賛成。	ご意見ありがとうございます。
石渡 秀嗣 委員	進め方を支持します。	ご意見ありがとうございます。
田中 真由 委員	常々同様に感じていたので、ぜひ提案いただいた通り進めてください。管理面での一本化はもちろん、発信側(国や自治体などの行政側)の都合ではなく、受け手(市民など)にとってのわかりやすさは非常に重要だと思ひます。	ご意見ありがとうございます。

(5) その他

委員名	委員からの意見(原文ママ)	担当課	担当課回答
鈴木 ひとみ 委員	<p>デジタル技術はあくまで手法であり、その先に市民のどのような生活をつくっていくかを計画の中で考えていかなければならないと思います。</p> <p>特に人口が減る、高齢者も可能なかぎり働く、90才以上が増えてくる(さすがに働けない人が大半)それを少ない労働人口で支えることの大変さを考えると、市全体の生産性の向上は必須かと思えます。</p> <p>あらゆる産業でのデジタル化、ロボット化、人が手を加えるところでの大きな付加価値の創出は創出は必須で、「どこにでもある総合計画」ではないものを作らなければならないと考えます。</p>	企画課	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>形式的な総合計画ではなく、「館山市民と館山市に必要な総合計画」を策定すべきであると考えます。</p>
石渡 雄悟 委員	資料作成大変お疲れ様でした。	企画課	回答依頼期限が短い中、ご意見くださりありがとうございます。
秋山 一夫 委員	膨大な資料作成等、ご苦勞様です。	企画課	回答依頼期限が短い中、ご意見くださりありがとうございます。
下妻 洋也 委員	膨大な資料の作成、お疲れさまでした。	企画課	回答依頼期限が短い中、ご意見くださりありがとうございます。
田中 真由 委員	いつも取りまとめありがとうございます!	企画課	回答依頼期限が短い中、ご意見くださりありがとうございます。